

かがやきだより vol.19

今回のテーマは「常陸大宮市の肥満の現状について」です。

「肥満」とは、体重が多いだけではなく、体脂肪が過剰に蓄積した状態をいいます。

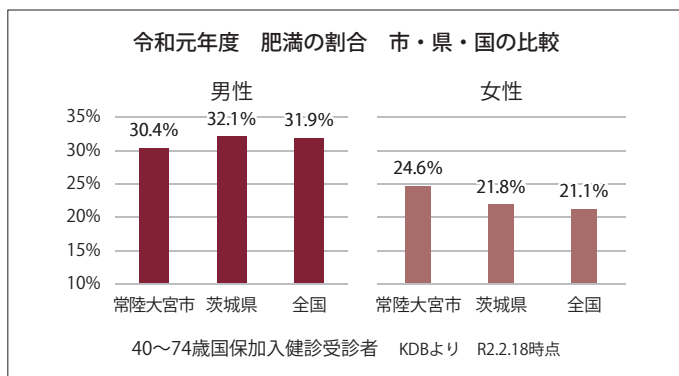
肥満度の判定には、国際的な標準指標であるBMI（Body Mass Index）＝〔体重(kg)〕÷〔身長(m)÷身長(m)〕が用いられています。

男女とも標準とされるBMIは「22」で、これは肥満との関連が強い糖尿病、高血圧、脂質異常症（高脂血症）に最もかかりにくい値で、「25」以上が肥満と定義されています。

BMI 判定基準

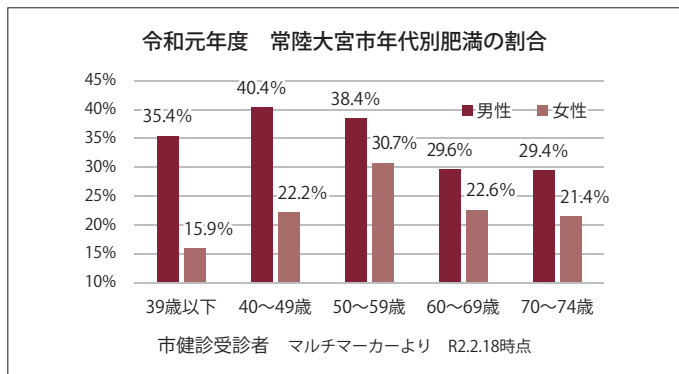
BMI (kg/m ²)	判定
18.4以下	低体重
18.5～24.9	普通体重
25.0以上	肥満

市の肥満の割合は、年々増加傾向にあります。肥満は、さまざまな生活習慣病を引き起こす原因になります。
今回は、肥満が引き起こす弊害について掲載します。



本市の肥満の割合を茨城県・全国と比較すると男性は低いですが、3人に1人は肥満です。

また、女性は県・国よりも高く、4人に1人は肥満という現状です。



本市の年代別の肥満の割合をみると、男性は40歳代が最も高く、全世代でおおむね3人に1人が肥満です。

女性は、50歳代が最も高く、40歳以上ではおおむね4人に1人が肥満です。

市内小学生の肥満は男子14.2%・女子9.0%、中学生は、男子11.0%・女子11.4%です。

（令和元年度定期健康診断結果より）

※救急受け入れの人数を月別に表しています。（休日・時間外を含む）

常陸大宮済生会病院救急患者受入状況

